

# 開業医のアラフィフの 女医の生活

函館市医師会  
きぎょう内科クリニック

はすぬま あきこ  
蓮沼 晶子

原稿のご依頼をいただき、何を書こうかずっと考えておりました。コロナに関することにしようか政治のことにしようか・・・。

コロナのことは専門の方がたくさんの知見を持っておられるだろうし、政治のことはうっかりいろいろ書くと勉強不足が見抜かれそうだし。

そこで開業医のアラフィフの女医の生活のことを書いてみようと思い立ちました。

専門は呼吸器内科。呼吸器疾患はもとより生活習慣病含め内科一般の診療をしています。総合診療科的だなあとすることもあります。

朝は6時起き。夫が家にいるときは夫と食事をとりますが、週の半分は一人の食事です。

7時45分～50分にクリニックに到着し、その日の予約患者様の指示出しをします（予約患者様は午後のみ受け付けており、平均44人です。午前は予約外の診療と発熱外来をしています）。

8時25分から5分間、毎日スタッフ全員とブリーフミーティングを行い、情報交換をします。例えば、気温が上がっているので発熱者を車で長時間待たせるのは危険だから、受付したら希望者は一度帰宅していただくとか、そういった内容の話をする。

8時30分～大体13時まで診療。その後、カルテ整理と患者様のラボデータのチェック・文書の作成などを行っているため大体13時40分くらいになり大急ぎで食事をとります。

午後の外来は14時からです。朝一で指示出しをしていた患者様をご来院されます。

午後の診療が終わりましたら再度カルテ整理と種々の情報収集を行いセミナーの聴講も行います。セミナーはほとんどが興味のある領域のWebセミナーの聴講です。

帰宅は大体20時くらい。

毎日この繰り返しで正直過酷です。子供が小さかったらまずできません。かわいいペットのチワワ達ともなかなか会えません。自分の時間もありません。

水曜日は午前訪問診療なのですが、終わったら月1回の会計事務所との面談などがあります。それ以外にも平日さばききれなかったこまごまとした仕事を行います。

土曜日は午前診療ですが、終わるのは3時くらいです。

一体要領が悪いんでしょうか？私は。と思ってし

まいます。

こんな毎日を何年か繰り返すと心がすさみます。カサカサの心は月に1回のフラワーアレンジメントで少し潤います。

休日は大体なにもしていません。せいぜい夫と近場の温泉に行くくらいです。

コロナが流行しマスク生活もそうですがHER-SYSだなんだで眼を酷使しすぎたため最近年齢もあり、眼のまわりの老化や口元のたるみと日々戦う毎日です。

開業医の女医さんの生活ってみんなこんなものなのでしょうか。知りたいものです。



月に1回のフラワーアレンジメント